

2024年3月27日

各位

会社名 株式会社テクノクリエイティブ  
(コード番号 9335 TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役 三嶋 一秀  
問合せ先 取締役 コーポレート部 部長 松田 英明  
TEL 096-386-2360  
URL <https://www.techno-creative.co.jp/>

### 固定資産の取得（新工場建設）に関するお知らせ

当社は、2024年3月27日開催の臨時取締役会において、以下のとおり、固定資産の取得（新工場建設（土地及び建物（工場）））を決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 取得の理由

当社は、「夢をかたちに…技術を未来に…」という企業ビジョンを掲げ、企業理念である「知恵と創造力により人に感動を与える企業」として、「総合エンジニアリング事業」を展開しております。当該事業はネットワークするマンパワー属性に応じて領域を2つに分けており、システム開発やインフラ基盤構築分野における「システムインテグレーション領域」と、機械類や生産装置などの設計開発・製造を行う「エンジニアリング領域」で構成されており、この2つの事業領域におけるワンストップの役務提供・モノ作りサービスの事業拡大に取り組んでおります。

当社を取り巻く環境としましては、2024年に半導体受託生産最大手「台湾積体回路製造（TSMC）」の熊本進出に伴い、当社の主要顧客である国内製造業においては、増産体制の拡大が継続されております。また、世界的な半導体需要や脱炭素への取り組みが高まり、かつて類をみないほどヒト・モノ・ハコが不足し、国内製造メーカーにおいては、BCP対策（事業継続計画）の一環として、協力会社に対して『独立性ある生産体制』を要請しております。今後もそのような顧客要請は加速・拡大していくものと見込んでおります。

当社は、現在、熊本県菊池郡大津町にあるファクトリーセンター大津、熊本県玉名郡南関町にあるファクトリーセンター南関、福岡県北九州市にあるファクトリーセンター北九州、福岡県八女郡広川町に建設中のファクトリーセンター広川の四つの自社工場を保有しておりますが、当社を取り巻く環境や、今後の当社の成長と発展を踏まえたとき、上記各工場のキャパシティは遠からず埋まってしまうことが予想されているため、当社としましては、早急に自社工場の新設が必要と判断し、土地の取得及び新工場の建設を決議いたしました。

##### 2. 取得資産（新工場）の内容

(1) 名 称	株式会社テクノクリエイティブ ファクトリーセンター益城
(2) 所 在 地	熊本県上益城郡益城町大字小谷 DPI シリコンヒルズ熊本内
(3) 投 資 総 額	2,480 百万円（税別）
(4) 敷 地 面 積	4,145.83 坪 (13,705.22 m <sup>2</sup> )
(5) 延 床 面 積	1,710.00 坪 (5,652.89 m <sup>2</sup> )
(6) 構 造	鉄骨造 2階建
(7) 資 金 計 画	シンジケートローン（予定）
(8) 稼働開始年月日	2026年2月（予定）

### 3. 相手先の概要

(1) 名 称	大和ハウス工業株式会社	
(2) 所 在 地	大阪市北区梅田3丁目3番5号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 芳井 敬一	
(4) 事 業 内 容	戸建住宅事業、賃貸住宅事業、マンション事業、商業施設事業、事業施設事業、環境エネルギー事業、その他事業	
(5) 資 本 金	1,619億5,715万2,677円	
(6) 設 立 年 月 日 ( 創 業 年 月 日 )	1947年3月4日 (1955年4月1日)	
(7) 純 資 産	2,388,914百万円 (2023年3月31日現在)	
(8) 総 資 産	6,142,067百万円 (2023年3月31日現在)	
(9) 大株主および持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) : 16.74% (2023年3月31日現在)	
(10) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。

### 4. 取得の日程

(1) 取 締 役 会 決 議 日	2024年3月27日	
(2) 契 約 締 結 日	土 地 売 買 契 約	2024年7月 (予定)
	建 設 工 事 請 負 契 約	2024年7月 (予定)
(3) 竣 工 時 期	2025年8月 (予定)	

### 5. 今後の見通し

取得資金の調達につきましては、株式会社みずほ銀行をアレンジャーとしてシンジケートローン契約を締結し、全額を銀行団からの借入で実行する予定です。

また、当該工場の竣工が2025年8月、稼働が2026年2月を予定しておりますので、今期の業績に与える影響につきましては軽微であります。今後、業績に重大な影響を与えると判明した場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上

(参考) 当期業績予想 (2023年11月13日公表分) および前期実績

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (2024年9月期)	7,000	599	603	336
前期実績 (2023年9月期)	6,250	455	458	298